みずほCustomer Desk Report 2022/06/21 号(As of 2022/06/20)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

				公示仲値	135.28
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	135.30	1.0491	141.82	1.2226	0.6951
SYD-NY High	135.44	1.0545	142.35	1.2277	0.6996
SYD-NY Low	134.55	1.0470	141.52	1.2201	0.6927
NY 5:00 PM	135.06	1.0510	141.95	1.2248	0.6954

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	-	-	日本2年債	▲0.0600%	0.0100%
NASDAQ	-	-	日本10年債	0.2300%	0.0100%
S&P	-	-	米国2年債	-	-
日経平均	25,771.22	▲ 191.78	米国5年債	-	-
TOPIX	1,818.94	▲ 16.96	米国10年債	-	-
ｼｶｺﾞ日経先物	-	-	独10年債	1.7360%	0.0765%
ﾛﾝﾄﾞﾝFT	7,121.81	105.56	英10年債	2.5990%	0.1060%
DAX	13,265.60	139.34	豪10年債	4.0520%	▲0.0760%
ﾊﾝｾﾝ指数	21,163.91	88.91	USDJPY 1M Vol	12.77%	0.30%
上海総合	3,315.43	▲ 1.36	USDJPY 3M Vol	12.14%	▲0.26%
NY金	-	-	USDJPY 6M Vol	11.58%	▲0.20%
WTI	-	-	USDJPY 1M 25RR	▲0.73%	Yen Call Over
CRB指数	-	-	EURJPY 3M Vol	12.78%	▲0.15%
ドルインデックス	104.70	0.00	EURJPY 6M Vol	12.31%	▲0.18%

東京	東京時間のﾄﾞﾙ円は135.30ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。ｵｰﾌﾟﾝ後はここ数日見られている日米金融政策の違いを背景としたﾄﾞﾙ買いが優勢となるも、急激な引き締めによる米景気後退懸念や日本株下げに転じる中で135円を割れる展開。午後には黒田総裁と岸田首相の会談も目新しい材料は出ず。134.88ﾚﾍﾞﾙで海外に渡った。
ロンドン	ﾛﾝﾄﾞﾝ市場のﾄﾞﾙ円は134.88ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝし、手掛かり材料難で小動き。約50銭の値幅で動意薄く推移し、134.96ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。
ニューヨーク	休場

【昨日の指標等】

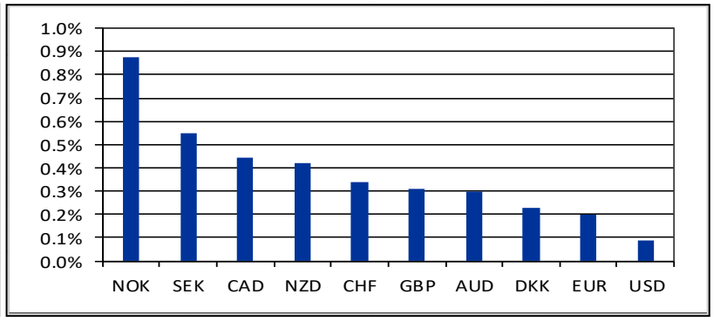
Date	Time		Event	結果	予想
6月20日	22:00	欧	ラガルドECB総裁	「7月25bpと9月の利上げを支持」	

【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
6月21日	10:30	豪	RBA議事要旨	6月	-	
	21:30	米	シカゴ連銀全米活動指数	5月	0.47	0.47
	23:00	米	中古住宅販売件数	5月	5.40m	5.61m
6月22日	01:00	米	メスター・クリーブランド連銀総裁 講演	-	-	

【ドル円相場】

【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	134.50-136.00	1.0450-1.0600	141.50-143.00

【マーケット・インプレッション】

東京時間ドル円は135.30レベルでオープン。日米金利政策差からドル買いが強まり、135.44まで上昇したが、金融引き締めによる米景気後退懸念や株安もリスクオフの円買いを誘発し、134円台後半まで値を下げ、欧州時間序盤に134.55まで下落した。日米欧の金融政策の違いと欧州株高を背景とした円売りに転じ、米国休日で市場参加者が少ない中ドル円もじりじりと値を上げ135.06レベルでクローズ。
本日のﾄﾞﾙ円は堅調推移を予想する。前日はNY休日だったこともあり、前週からの日米金利政策差が意識されたドル買い圧力が再燃し、136円台を試す展開となるだろう。また、米中古住宅販売件数、リッチモンド連銀バーキン総裁の発言もあり、米景気動向を見極めるうえで、こちらの内容にも注目しておきたい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:多川・松木